

市教研 事務研究部 第1回研修報告

令和6年5月22日(水)



1部会



◎事務センター所長講話 南部中学校 山崎孝依主幹

研修を進めるにあたり、「はままつ学校事務グランドデザイン」と「学校事務職員育成指標」に基づき、これから行っていく研修がどこにあてはまるのかを意識してほしい、とのお話をいただきました。指標があっても、実務と結び付いていなければ意味がない、との言葉もあり、育成指標を常に手元に置き、専門スキルを意識して職務に当たることを確認しました。



◎グループ協議

4月からの業務を振り返り、各学校が抱える課題や不安な点を共有し、解決の糸口を探りました。また、「事務職員の専門性」についてグループで話し合い、自分自身が目指す事務職員像を考えました。そこに近づくための必要な手立てについてグループで活発な意見交換が行われ、今後の実践につながる有意義な時間となりました。



2部会



2部会では、学校事務センター所長の講話と「学校財務」について研修を行いました。

◎ 2部会学校事務センター所長講話 富塚中学校 木根 創 専門監

管理職や教員との関わり方、学校運営への参画の仕方、学校事務職員として必要な力について、が主な内容でした。学校事務職員の職務や役割を周囲に理解してもらう手立てとして、校内で担当者が気持ちよく業務遂行をしていける仕組みづくりをすることや法令・根拠を明確にしながらも協力的な雰囲気を作って問題解決すること、学校運営への参画においてもその基盤となるのは実務の力だということを学びました。



◎ 学校財務について

はじめに学校徴収金の一元管理や減額調整について研修を行いました。事前にアンケート調査を行い、その結果を踏まえ、広沢小学校 坂田主幹より減額調整の実践内容・感想・課題を伺



いました。その後、班ごとに話し合い、減額調整は、学校全体の共通項目での調整が望ましいことや、調整時期と集金額のバランスを考えること等の意見が出されました。一元管理については、経理簿の入力漏れに注意すること、学年数の多い小学校で行うには課題が多いこと等の意見が出されました。

次に、中学校区に分かれ、インターネットバンキングの進行状況や振込手数料への対応について情報交換を行いました。

インターネットバンキング導入の有無や保護者への通知方法、月額使用料の原資の捻出方法等について話し合いました。



3 部会



◎顧問校長あいさつ 芳川北小学校 高木宏康校長

事務職員に期待している4点についてお話しをいただきました。

- ★子供を支える ★保護者を支える
- ★職員を支える ★学校運営を支える

また、自信と誇りをもって臨んで欲しいとエールをいただきました。



◎「浜松市教職員ポータルサイト」で学ぶ 講師 大瀬小学校 菊地寛先生

昨年まで教育施設課にお勤めだったということで、情報関係の最新情報を教えていただきました。中でも令和7年4月からスズキ校務やミライムが内田洋行のシステムに変わるという説明は文書では目を通してはいるはずなのに、大きな衝撃をもって受け止められました。その後、サーバーと Google クラウドの違いと関係性、Google Classroom、Meet、zoom、フォーム、チャット、共有、便利な機能について、実際に Chromebook を使用しながら、それぞれの機能や操作方法について教えていただきました。タブレットが教員や児童生徒にどのように活用されているか知ることができました。また、事務職員にとっても利用価値があるものだと分かりました。



研修後もチャットを活用し、部会間で情報交換をしています。状況に応じて選択できるツールの一つとしてタブレットを有効

に活用できるよう、今後も研修を進めていきます。



4部会



◎「海外交流支援派遣報告」元入野中学校主幹 高林美智留 様

オランダの特色ある教育のひとつであるイェナプラン教育についてお話しいただきました。授業の様子から教室環境、職員の勤務形態まで日本の学校とは全く違い、大変興味深いお話でした。

学校事務職員という、教員とは別の視点で海外の学校を見ることで、新たに気づくことがあるのではないかと感じました。



◎「タイムマネジメントで働き方改革」

タイムマネジメントについてのDVDを視聴しました。事前に準備したワークシートを活用しながら、各自大切だと思うポイントをメモし、視聴後に近くの席の人と意見交換をしました。様々な仕事が入り込んでくる学校事務職員に必要な時間管理のスキルを学ぶ良い機会となりました。



5部会



◎顧問校長講話 北浜東小学校 花井清孝先生

「学校の『窓口』として、来校者への対応や電話対応などの機会が多い学校事務職員が丁寧な対応をすることで、その学校の良さが更に地域や保護者へ伝わる。」とお話いただきました。

また、浜松市は全国と比べ、定数に対してフルタイムの学校事務職員数が多いという話を聞き、学校事務センターという市独自の取り組みが行われていることも踏まえ、浜松市の学校事務職員は、恵まれた環境のもとで仕事をしていることに改めて気づかされました。





◎グループ協議・意見交換

中学校区ごとに分かれたグループで「諸会計事務の課題」についての意見交換を行いました。ネットバンキングのメリット・デメリット、手数料有料化後の返金方法、今年度の学校徴収金集金計画で工夫した点等を話し合った後、発表を行い、全体で情報の共有をしました。他校と状況を比較し合うことで、現状の課題を明確にでき、解決に向けて今後の手立てを考えることができました。

◎顧問教頭講話 中瀬小学校 櫻井伸夫先生

「グループ協議では、活発に意見が交換されていた。今年度から新任教頭として勤務しているが、事務職員と教頭は業務を支え合うことが多い。事務職員の皆さんと情報を共有して、連携することを大切にしていきたい。」とお話くださいました。

今年度も部会内や学校内の「つながり」を大切に、研修を深めていきたいと思いました。



6部会



◎顧問教頭講話 入野中学校 高橋知己教頭先生

「学校事務職員と教員の連携」について教頭先生からお話をいただきました。

職員間でのコミュニケーションが大切であり、感謝の言葉と気持ちを忘れてはならない。学校の状況をよく知り、確かな根拠のもと、管理職も交えて子供たちのために学校をより良くする学校事務職員であってほしいとのお話をいただきました。



◎グループ協議 「より良い学校づくり、子供のためにできること」

経験年数が多様になるよう構成した3つのグループに分かれて協議しました。

先生方とのコミュニケーションのとり方や学校運営への参画などの情報交換ができました。

また、日々の実践における疑問点を共有し、解決に向けたアイデアなど意見交換をしました。



7部会



◎所長挨拶 細江中学校 野栗絹世主幹

「キャリア育成につなげるために取り組んだこと」を育成指標のキャリア段階と照らしながらお話しいただきました。キャリアによって求められるものは違うが、すべてを完璧にこなすことは難しいため、間違いを次に活かす姿勢が大切であると思いました。

◎代表顧問校長講話 平山小学校 足立成寿校長先生

学校事務職員の業務は形として見えにくいですが、日々周りを陰ながらサポートしてくれていることに感謝しているとお言葉をいただきました。子供たちの夢の実現のため、学校事務職員として専門性を身につけることが大切だと感じました。



◎グループ協議



「浜松市学校事務職員育成指標」について、①自分なりの取り組みを緑色付箋に記入、②不安に思うことやどうすればいいかわからないことを青色付箋に記入、①・②に対する意見や解決策を桃色付箋に記入し協議しました。自身の取り組みを改めて見直し、相互に学び合うことができ、自身をバージョンアップする機会になりました。

◎顧問校長指導講評 豊岡小学校 泉澤伸広校長先生

「教員以外の視点を大切にして積極的に意見を出し、学校運営に関わってほしい」とお話いただきました。学校事務職員も学校組織の一員であり、一枚岩になるため学校運営に参画する大切さを改めて認識しました。



8部会



グループ協議

「気づいて・考えて・行動して『はままつ型学校事務』を創造しよう！」という市教研の研修テーマを踏まえ、今回の部会テーマは”まずは気づくことから”としました。

最初に「自分自身のこと」「所属校のこと」「事務職員としての自分について」を振り返って考え、気づいたことを自己紹介として発表しました。





発表の中で、「積極的に児童生徒と繋がりをもって活動している。」「担当外の事に思慮をめぐらせることで学校運営を学んでいる。」などといった話が聞かれました。発表されたことについて、質問したり、より詳しく聞き出したりすることで、自身の今後の業務に活かすための参考にしていました。